



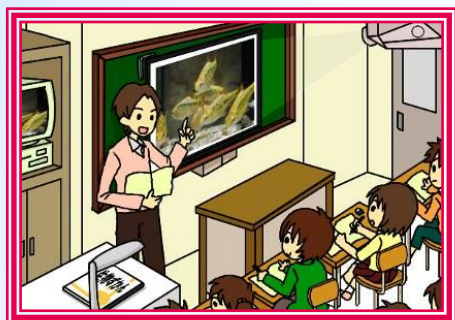
今、本市の小中学校では校内の多くの場所にICT（情報通信技術）が整備され、様々な用途に活用されています。

学校のICT化

河内長野市では、平成22年3月に「教育立市宣言」を行い、市の発展、まちづくりの柱として教育を据えました。その振興策の一つとして、デジタルテレビや電子黒板による映像や動画を使った授業、インターネットを使った学習など、ICTを活用した教育の充実をめざしています。

そのため、4月に市立小中学校に教育用・校務用コンピュータ、デジタルテレビ、校内LANなどの、府内でトップクラスの学校のICT環境整備を実施しました。

今後は、ハード面の整備とあわせて、教職員のICT活用指導力の向上やデジタル教材などの充実が欠かせません。現在、各学校に情報アドバイザーを配置するとともに、教職員の研修に努めています。



河内長野の教育情報化 『ICT(情報通信技術)で 学校が変わる、授業が変わる、子どもが変わる！！』

校内各所に整備され、活用されるICT

普通教室

先生がいろいろな教材、資料を拡大して見せたり、電子黒板による映像や動画を使った授業、インターネット上の教材を使った授業などが行われています。



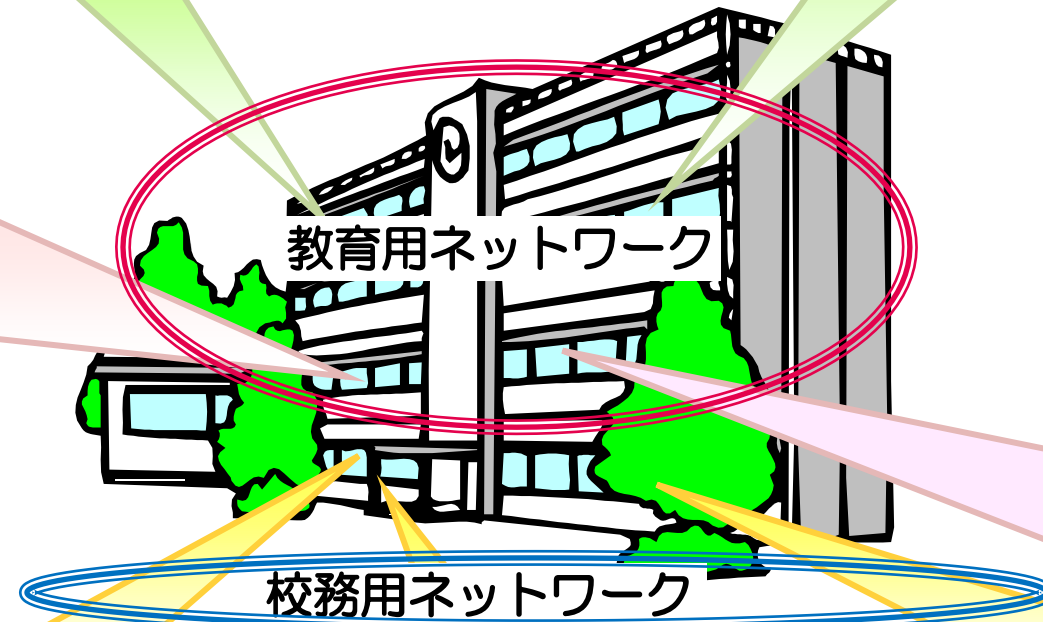
特別教室

先生がいろいろな教材、資料を拡大して見せたり、デジタルテレビによる映像や動画を使った授業、インターネット上の教材を使った授業などが行われています。各校に情報アドバイザーを配置し、機器の活用を支援しています。また、メディアセンター(子ども教育支援センター内)にテレビ会議システムを導入して、国内はもとより、海外とも積極的に交流授業を実施しています。



図書室

各校に司書が配置され、読み聞かせや調べ学習を行っています。図書だけではわからなかった内容について、インターネットを通じて調べ学習も行っています。



コンピュータ室

インターネットで調べた結果をまとめて発表したり、デジタル教材を使った学習を行ったりしています。

職員室

書類を作成したり、成績をつけたり、インターネットで情報を入手したりするなど、それぞれの先生の様々な業務で使われています。また、教師間の情報の共有にも活用されています。教育用とは別の校務用のネットワークを利用して、情報管理に努めています。



校長室

様々な事務作業のほか、校外との連絡や教職員との情報共有など学校経営の多様な場面で活用されています。また、メディアセンターのテレビ会議システムを利用して、校区内の学校長テレビ会議を実施しています。

※テレビ会議には教育用ネットワークを利用しています。



保健室

児童生徒の身体測定、健康診断等に関するデータ処理などをはじめとした養護教諭の業務や、他の教職員との情報共有にも活用されています。

